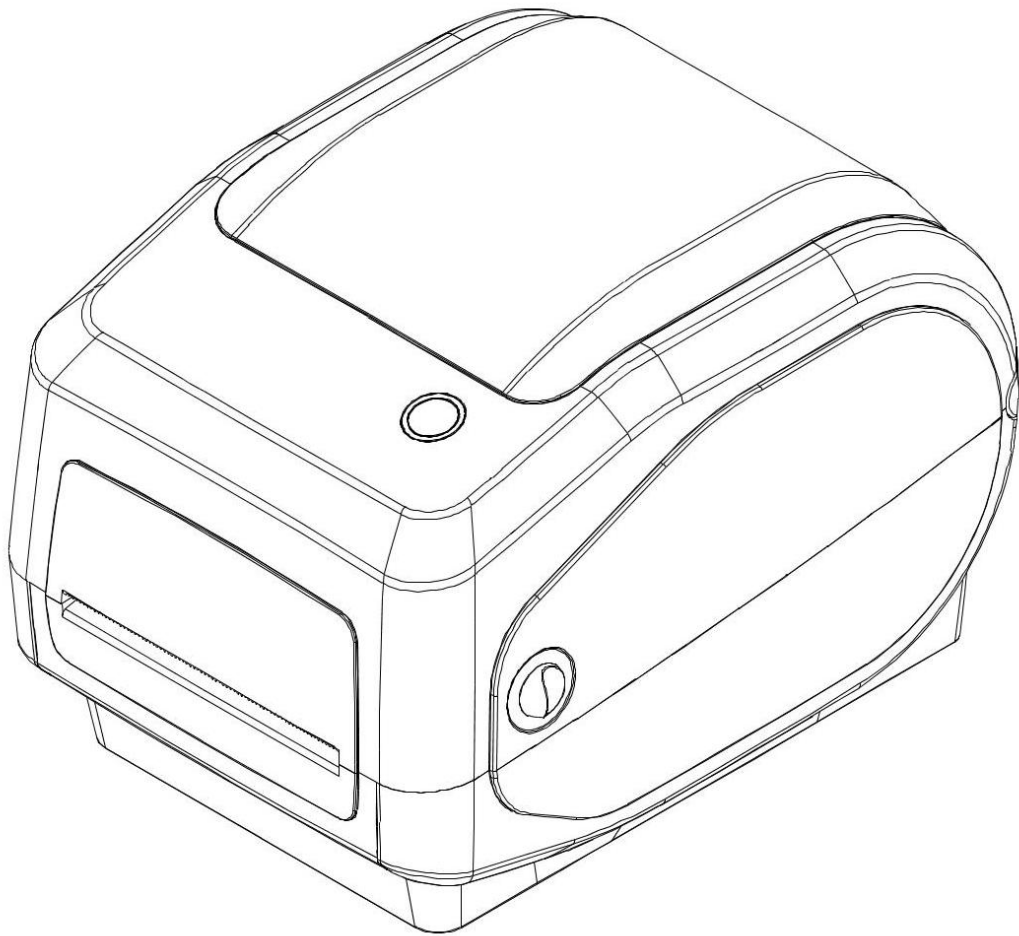


# デスクトップ型熱転写バーコードプリンタ

TD-403TDesktopThermalTransferBarcodePrinter

ユーザーマニュアル



# 目次

一、製品紹介 .....	4
1.セキュリティ警告 .....	5
2.主な特徴 .....	5
二、安全注意事項 .....	7
三、外観と構成部品 .....	8
四、技術パラメータ .....	10
五、プリンタのインストールと取扱 .....	13
1.プリンタの開封 .....	13
2.プリンタ部品について .....	14
3.プリンタの接続方法 .....	17
4.紙ロールの設置 .....	18
5.インクリボンの設置 .....	19
6.Bluetooth のペアリングと印刷(Bluetooth 対応プリンタでのみ有効) .....	21
7.Bluetooth コネクタを使用した印刷(Bluetooth 対応プリンタでのみ有効) .....	22
8.WIFI 接続と印刷(WiFi プリンタでのみ有効) .....	23
9.WiFi 接続を使用して印刷する(ドライバーが WiFi 印刷に対応しない) .....	25
六、プリンタのスイッチ、ボタン及び表示灯 .....	27
1.電源スイッチ .....	27
2.ボタンと表示灯 .....	27
七、プリンタテスト .....	28
1.セルフテストページの印刷 .....	28

2.Windows ドライバを使用した印刷 .....	29
3.Mac ドライバーを使用した印刷 .....	29
4.Ubuntu ドライバを使用した印刷 .....	29
5.ラベル学習 .....	30
6.紙切れ学習 .....	30
7.ギャップ学習 .....	30
8.黒ラベル学習 .....	31
八、プリンタの清掃 .....	33
九、トラブルシューティング .....	36

## 一、製品紹介

当社のバーコードプリンタをお買い上げいただきありがとうございます。

1組のギヤ駆動モータで300mのインクリボンに対応し、大容量のポリウムラベル用紙を使用できる設計となっているため、5インチOD(外径)の内部用紙では物足りない場合は、オプションで外付けラベル用紙ホルダーを購入すれば、業界標準の8インチOD(外径)に対応可能です。

リムーバブルブラックラベルセンサーは、さまざまな種類の用紙に対応しており、ラベル用紙、いりょうでたい、折り曲げラベルなど、さまざまな印刷素材を使用できます。その他の一般的なバーコード用紙も使用できます。

プリンタの優れた機能と使いやすさは、次のような分野で広く利用されています：

### 応用分野

#### ❖ 製造業&倉庫物流業

- 製造識別ポリウムラベル
- 「在庫管理」ラベル
- 取扱指示ラベル
- 「販売店指示」ラベル
- 「製品仕様」ラベル
- ロジスティクス管理ラベル
- 電子製品ポリウムラベル

#### ❖ 小包郵便

- 送付/受領ラベル

#### ❖ 医業

- 医師患者識別
- 薬品表示
- 標本標識
- ❖ 小売業
  - 価格表示
  - 宝飾品
  - 資産管理
  - ウォッシュラベル
- ❖ 小規模オフィス/スタジオ

## 1.セキュリティ警告

警告 1：傷がつく恐れがありますので、プリンタの前面には触れないでください。

警告 2：プリントヘッドは発熱する部品です。印刷中や印刷直後は、高温やけどの原因になりますので、プリントヘッドや周辺部品に触れないでください。未成年者が機器を使用する場合は、成人の監督下で取扱う必要があります。

警告 3：静電気によるプリントヘッドの破損の原因となりますので、プリントヘッドの表面や接続部には触れないでください。

警告 4：日常の生活環境でプリンタを使用すると、電波干渉の原因になることがありますので、使用する際、無線機から離れてください。

## 2.主な特徴

- ❖ 高品質印刷
- ❖ 低騒音

- ❖ 美しい造形
- ❖ 構造が合理、使用と保守が便利
- ❖ 1秒あたり最大1枚のラベルを高速印刷することで、印刷時間を大幅に短縮
- ❖ 放熱性に優れ、大量の連続作業に対応
- ❖ 用紙切れによる印刷中のラベル情報の欠落、印刷不良などを防止する打ち直し機能

本マニュアルのイラストおよび説明文は、実物と異なる場合がありますので、実物を基準にしてください。

## 二、安全注意事項

プリンタの取扱を始める前に、次の項目をよくお読みになり、取扱を守ってください。

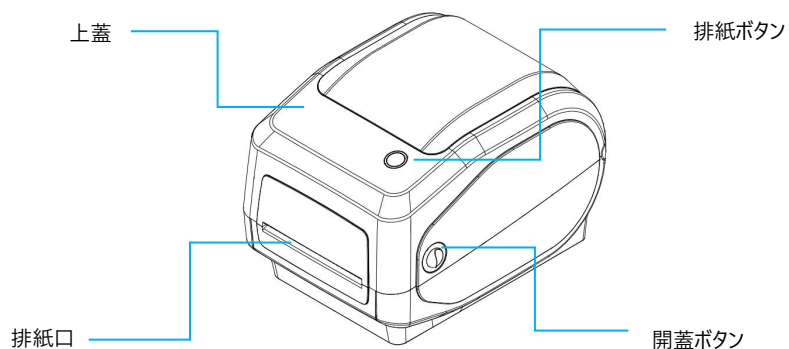
1. プリンタは安定した場所に置き、振動や衝撃のある場所には置かないでください。
2. 高温・多湿の場所や、汚れのひどい場所での使用や保管はしないでください。
3. プリンタの電源アダプターをアースコンセントに接続してください。電源電圧を変動させる可能性のある大型モーターなどの機器と同じコンセントを使用しないでください。
4. 水や電気を通す物質(例：金属)がプリンタ内部に入らないようにし、万一入った場合は直ちに電源を切ってください。
5. 用紙がない状態で印刷しないでください。印刷ローラーや感熱プリントヘッドに重大な損傷を与える恐れがあります。
6. プリンタを長時間使用しない場合は、プリンタの電源アダプターの電源を切ってください。
7. ユーザーは勝手にプリンタを取り外して修理や改造をしてはいけません。
8. 電源アダプターは、ランダムに割り当てられた電源アダプターのみを使用してください。
9. 印刷品質を維持し、製品の寿命を延ばすために、同等品質の感熱印刷用紙を使用してください。
10. 接続ケーブルを抜き差しするときは、プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
11. プリンタの電源コードを接続するときは、プリンタの電源コネクタの矢印を持ってください(プリンタの電源コードで抜き差ししないでください)。

使用上の参考として、本マニュアルを大切に保管してください。

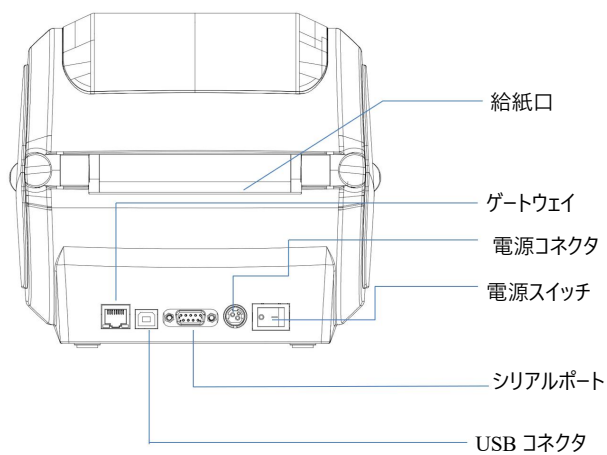
### 三、外観と構成部品

#### デスクトップ型バーコードプリンタ

##### 前面図

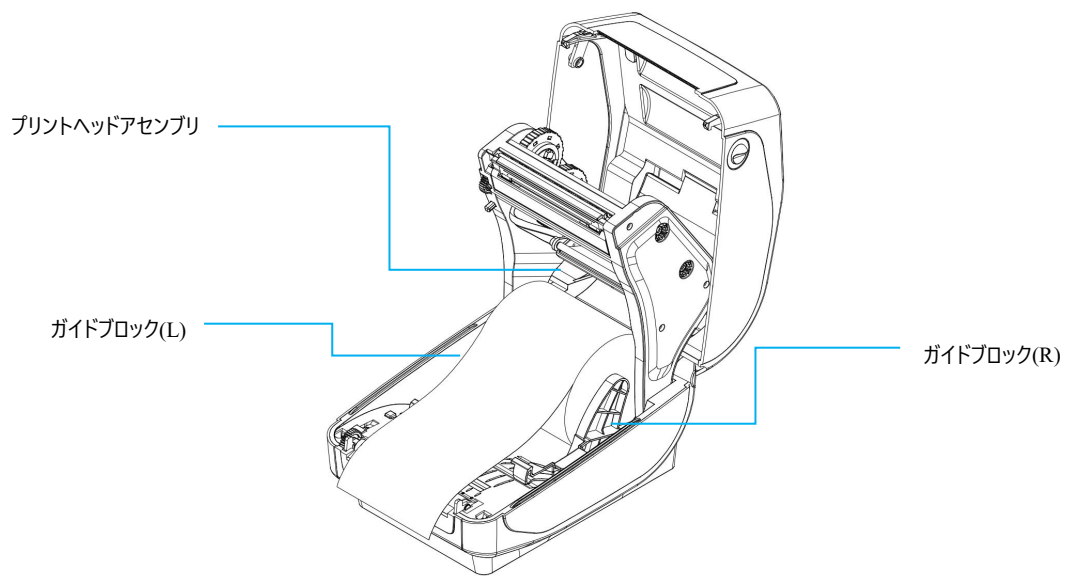


##### 背面図



##### 内部ビュー





## 四、技術パラメータ

印刷パラメータ	
型番	TD-403T
印刷モード	ライン感熱/ライン熱転写
印刷速度	熱転写：203mm/s(max)、感熱：150mm/s(max)
有効解像度	203dpi
最大印刷幅	108mm
最大印刷長さ	1778mm
最大印刷長さ	150km
プリントヘッド寿命	USB/ゲートウェイ/シリアル/Bluetooth/WIFI
通信インタフェース	開蓋センサー/インクリボンセンサー/反射式センサー(モバイル)/対射式セ
センサー	ンサー
メモリ	SDRAM：8M
フラッシュメモリ	FLASH：8M
文字サイズ	英数 9x17dot、英数 12x24dot、中国語 24x24dot
印刷文字	
文字セット	GB18030
拡張文字テーブル	PC437、Katakana、PC850、PC860、PC863、PC865、West Europe、Greek、Hebrew、East Europe、Iran、WPC1252、PC866、PC852、PC858、IranII、Latvian、Arabic、PT151、1251、PC747、WPC1257、Vietnam、PC864、PC1001、Uygur、Thai
1次元コード	TSPL：CODE128、EAN128、ITF25、CODE39、CODE93、

	<p>EAN13、EAN13+2、EAN13+5、EAN8、EAN8+2、EAN8+5、  CODABAR、POSTNET、UPC-A、UPC-A+2、UPC-A+5、UPC-E、  UPC-E+2、UPC-E+5、CPOST、MSI、MSIC、PLESSEY、ITF14、  EAN14、CODE11</p> <p>ZPL：Code11、Interleaved2of5、Code39、Panet Code、EAN-8、  UPC-E、Code93、Code128、EAN-128、EAN-13、Industrial2of5、  standard2of5、Codabar、MSI、Plessey、UPC/EAN Extensons、  UPC-A、POSTAL</p>
二次元コード	QR code、PDF417、MicroPDF417、DataMatrix、AZTEC
文字の拡大/回転	1～10倍拡大/0°、90°、180°、270°回転/ミラー/白抜き印刷
<b>電源</b>	
電源アダプター	入力：100～240V50/60Hz
入力電源	出力：24V-2.5A
<b>環境要件</b>	
作業環境	温度：5～40°C、湿度(非凝結)25～85%
ストレージ環境	温度：-10-60°C、湿度(非凝結)：10～90%
<b>指令</b>	
サポートシステム	Windows/Mac/Linux
印刷指令	TSPL/ZPL/CPCL
<b>媒体</b>	
用紙タイプ	ギャップ紙、連続紙、黒ラベル用紙、折り紙、フレックスメタルラベル
用紙幅	20～118mm

用紙長さ	10～1778mm
用紙厚さ	0.06～0.254mm
ロール軸サイズ	1 インチ/25.4mm
ロール外径	127mm (max)
インクリボン幅	30～110mm
インクリボン長さ	300m
インクリボンコアのサイズ	1 インチ/25.4mm
インクリボン外径	67mm (max)

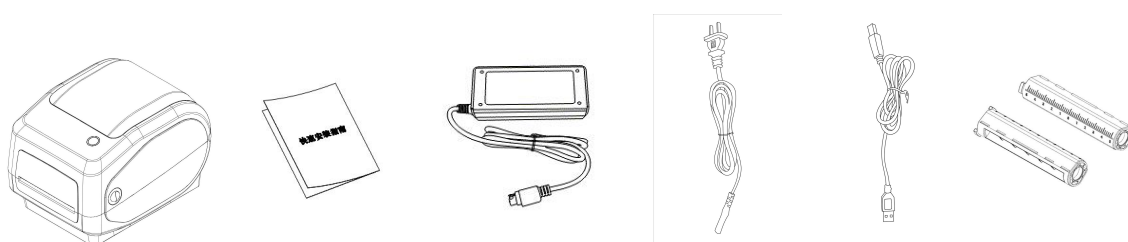
備考：標準の接続口は USB で、他の接続口はオプションできます。具体的な接続口は実物に準じて  
ください。

## 五、プリンタのインストールと取扱

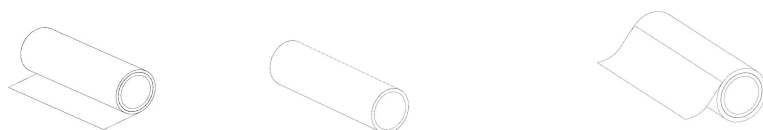
### 1. プリンタの開封

梱包リストのチェック：

開梱後に付属部品をチェックし、不足があればサプライヤーまたはベンダーに連絡してください(次に例を示す)。具体的な部品はこのインタフェースがあるかどうかを基準とします。



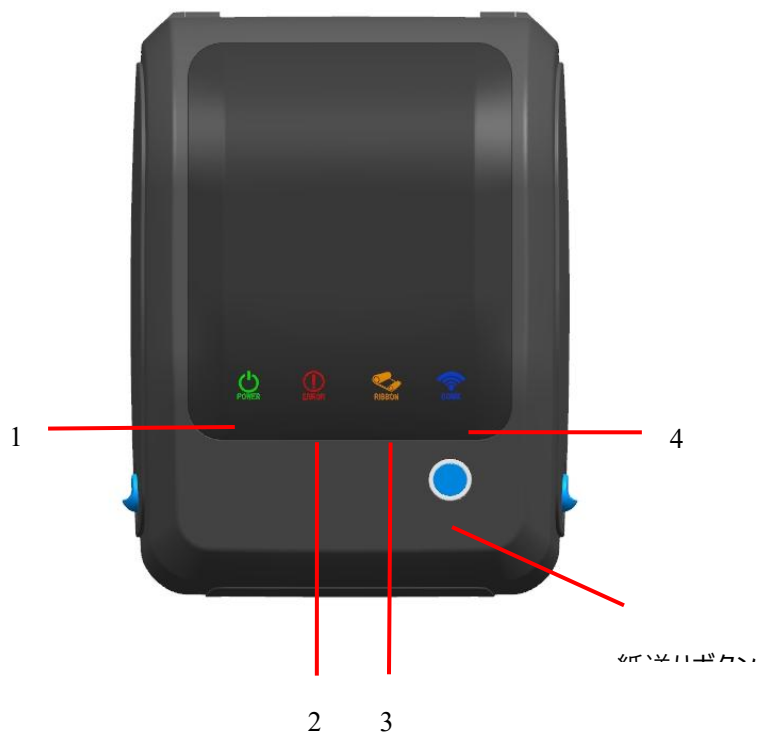
プリンタ    クイック設置ガイド    アダプター    電源コード    USB ケーブル    紙ロール



インクリボン    インクリボンカートリッジ    コート紙

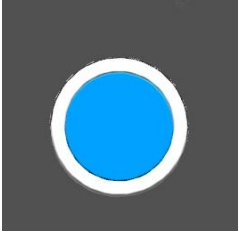
写真はご参考までに、実物に準じてください。

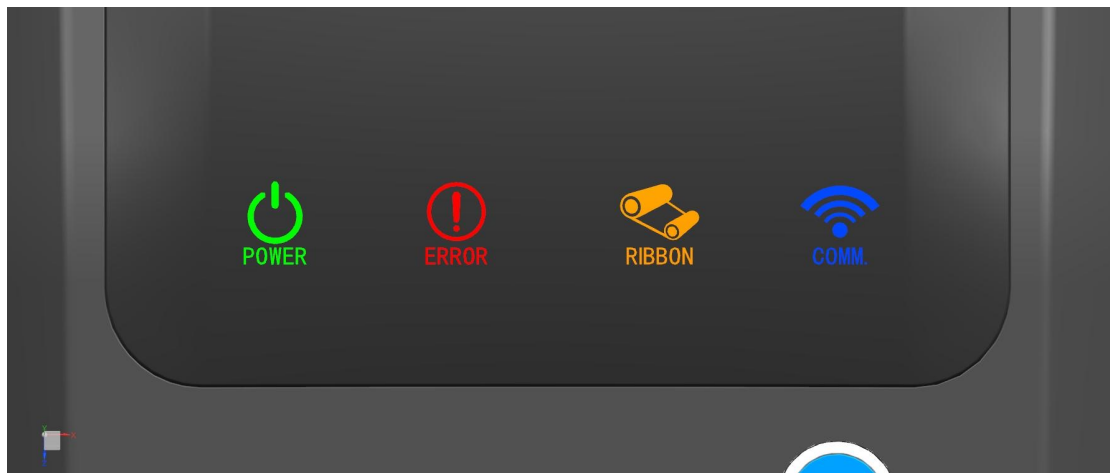
## 2.プリンタ部品について



- 1、電源表示灯(POWER)-----緑
- 2、エラー表示灯(ERROR)-----赤
- 3、カーボンベルト表示灯(RIBBON)-----オレンジ
- 4、イーサネットオンライン表示灯(Comm.)-----青

操作ボタン	
ボタン	機能

<p>排紙/一時停止/エラーキャンセルボタン</p> 	<p>①準備ができた状態でこのボタンを押すと、機械が紙を1枚吐き出します。</p> <p>②印刷中にこのボタンを押すと、印刷ジョブが一時停止します。</p> <p>③一時停止中にこのボタンを押すと、ポーズが解除されます(印刷ジョブの再開)。</p> <p>④エラー状態のときにこのボタンを押すと、エラー状態が解除され、印刷機能が回復します。</p>
--	--



機能	説明
熱転写モード対応	緑表示灯(POWER)とオレンジ表示灯(RIBBON)が点灯したら、熱転写モードに移行する準備ができています。
熱転写モード準備完了	緑表示灯(POWER)が点灯したら、感熱モードに移行する準備ができています。
開蓋	蓋を開けると6音が鳴り、赤表示灯(ERROR)、オレンジ表示灯

	(RIBBON)が同時に点滅します。
一時停止	紙送り(FEED)ボタンをクリックすると、プリンタが一時停止します。
紙切り	用紙がないときは、3回音が鳴り、赤表示灯(ERROR)が常に点灯します。
インクリボンなし状態	カーボンリボンがない場合は、3回のビープ音が鳴り、赤表示灯(ERROR)が固定して点灯し、緑表示灯(POWER)とオレンジ表示灯(RIBBON)が点滅します。
インクリボンが切れる	インクリボンが切れそうになると、オレンジ表示灯が点滅します。
局在異常(ブラックラベルまたはギャップ)	ギャップ/黒ラベルが見つからない場合は、7回の音が鳴り、赤表示灯(ERROR)が点滅します。
過熱警報	機器が過熱すると、5回のビープ音が鳴り、緑表示灯(POWER)と赤表示灯(ERROR)が交互に点滅します。
指令エラー	指令エラーが発生すると、2回の音が鳴り、赤表示灯(ERROR)が常に点灯します。
ゲートウェイ接続準備	青表示灯は、RJ45 ネットワークケーブルが接続され、オンライン状態が正常である場合に点灯します。

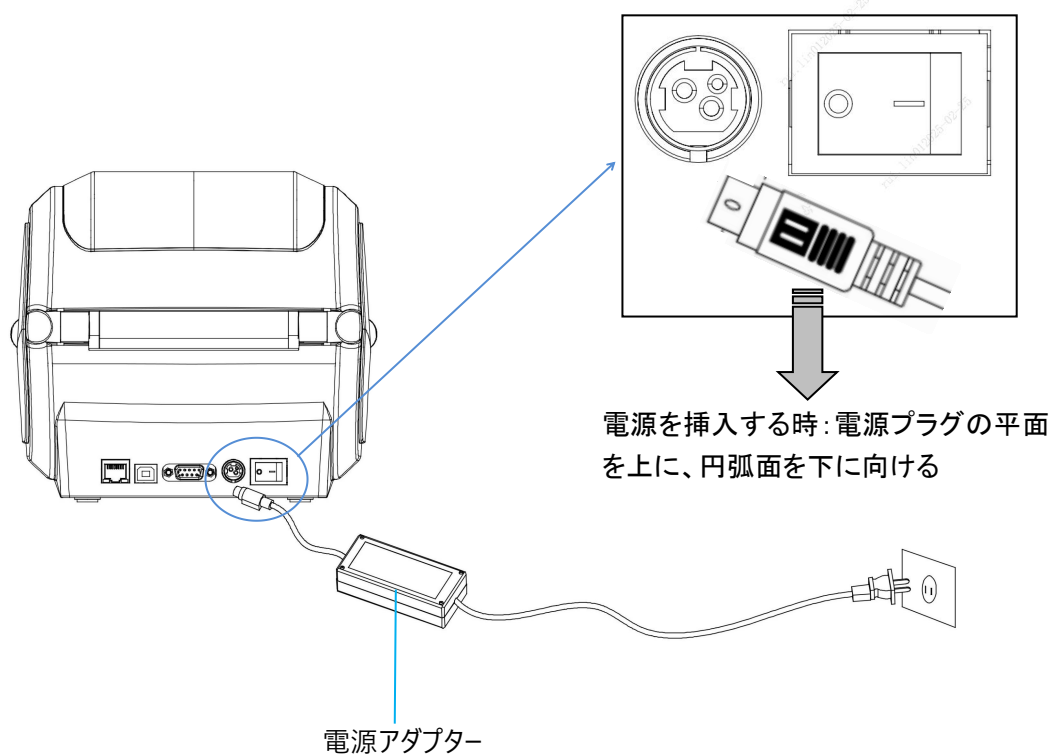


### 3.プリンタの接続方法

#### 電源コードの接続

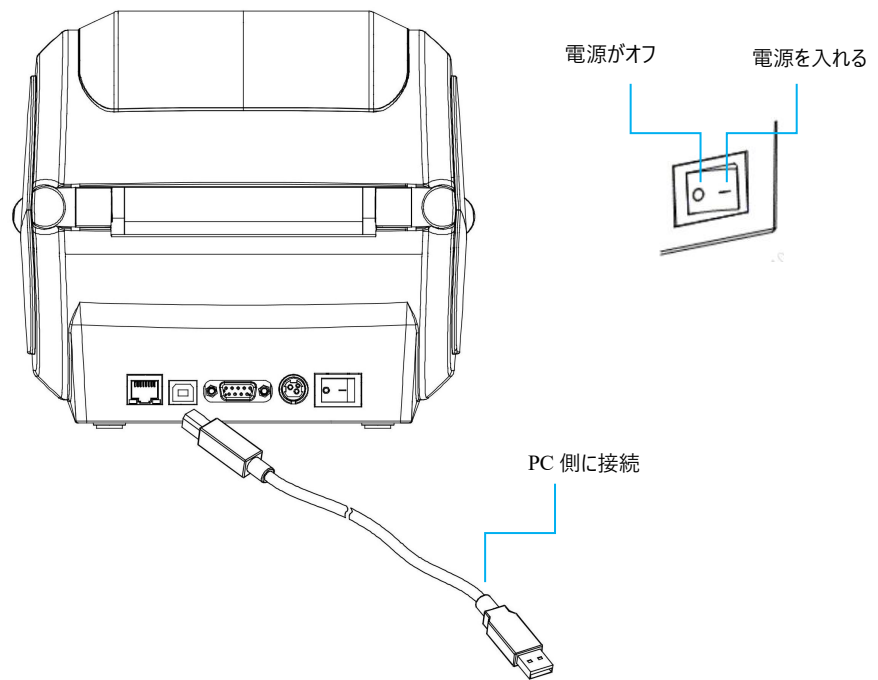
- (1)プリンタの電源がオフ (○) になっているように確認してください。
- (2)電源アダプターをプリンタに接続します。
- (3)電源コードを電源アダプターに接続します。
- (4)電源コードのもう一方の端を近くのコンセントに接続します。

付属の専用電源アダプターをご利用ください。接続図は次の通り：



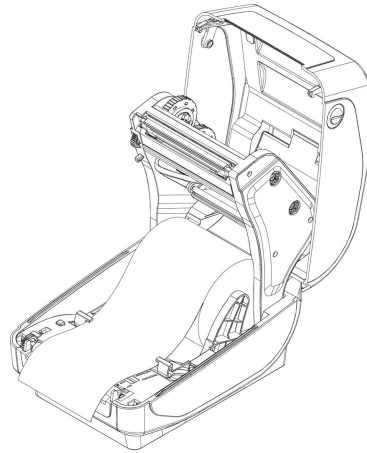
#### USB ケーブルの接続

- (1)USB ケーブルをプリンタに接続します。
- (2)USB ケーブルを PC 側に接続します。
- (3)プリンタの電源を入れます。



#### 4.紙ロールの設置

<p>1.両手で開蓋ボタンを押し、開蓋を上を持ち上げます。</p>	<p>2.右ガイドブロックのロックボタンを手で引き上げてから、左右ガイドブロックを両側に引いて、ラベル用紙を入れて、手を放して位置を調整して、ガイドブロックにラベルロールを挟ませます。</p>



3.ラベル用紙をギャップセンサー、黒ラベルセンサー、給紙口に通し、設置を完了します。

### 5.インクリボンの設置

<p>1. インクリボンはインクリボン軸にカバーします。</p>	<p>2.プリンタ背面の位置決め軸の右側にインクリボン軸を差し込み、左側に六角形の回転輪を差し込み、緩んでいないことを確認します。</p>

	
<p>3.インクリボン回収軸芯がインクリボン軸をカバーします</p>	<p>4.プリンタ前面の位置決め軸の右側にインクリボンシャフトを差し込み、左側に六角形の回転輪を差し込み、緩んでいないかどうかを確認します。</p>
	
<p>5.インクリボンを引き出してプリントヘッドを迂回し、回収軸に平らに貼り付け、黒い領域がプリントヘッドを覆うまで回収回転輪を回転させます。<b>注意：インクリボン光沢面を上にしてプリン</b></p>	<p>2. 前蓋を閉じて、両手で上蓋を押して、力を入れて押して、「ボタン」という音が聞こえたら、上蓋は完全に閉じて、設置を完了します。</p>

トヘッドを包むこと	
-----------	--

## 6. Bluetooth のペアリングと印刷(Bluetooth 対応プリンタでのみ有効)

Bluetooth プリンタは、プリンタを駆動するマスターデバイスとペアリングしてから動作します。ペアリングはマスターデバイスが開始します。

一般的なペアリング方法は次のとおり：

- (1) プリンタの電源を入れます。
- (2) マスターが外付け Bluetooth デバイスを検出します。
- (3) 複数の外付け Bluetooth デバイスがある場合は、セルフチェックページに記載されている Bluetooth MAC アドレスに対応するプリンタを選択します。
- (4) 初期パスワード「0000」または「1234」を入力します。
- (5) ペアリングを完了します。

具体的なペアリング方法については、マスター Bluetooth 機能の説明を参照してください。Bluetooth コネクタを備えた TD401 デスクトップ型コードプリンタは、ペアリング時にスタンバイ状態になっている必要があります。

**注意：**ペアリング中は、複数のデバイスの電源を同時に入れないでください。ペアリングに成功したデバイスを判断できなくなる恐れがあります。

同一プリンタデバイスには最大 1 台の Android デバイスと 1 台の iOS デバイスの同時接続が可能

であり、より多くの上位機がプリンタとペアリングされると、最も早くプリンタとペアリングされた上位機がプリンタによってペアリングリストから自動的に消去され、そのときその上位機がプリンタを駆動して印刷する必要がある場合は、再度ペアリングする必要があります。(マルチ接続 Bluetooth のみ)

## 7. Bluetooth コネクタを使用した印刷(Bluetooth 対応プリンタでのみ有効)

仮想 Bluetooth シリアル・ポートを持つ上位機(例えば、仮想 Bluetooth コネクタ搭載のスマートフォン、ノートパソコン、デスクトップパソコンを使用)の場合、ペアリングが成功すると、仮想 Bluetooth シリアル・ポートを介してプリンタ(Bluetooth 搭載)に印刷データを送信し、印刷できるようになります。上位マシンに仮想 Bluetooth シリアルポートがない場合は、プリンタに印刷用のドライバソフトウェアを接続する必要があります。

PC 側 Bluetooth コネクタ接続印刷取扱は以下の通りです。(シリアル/ネットワークデータデバッグの例)

- ノートパソコンは、システムの Bluetooth 機能を使用して必要なプリンタとペアリングできます(図 1～図 4)。
- プリンタのペアリングが成功したら、上位マシンソフトウェア(シリアル/ネットワーク・データ・デバッグなど)を使用して、対応する仮想 Bluetooth シリアルポートを選択して接続します。
- 仮想 Bluetooth シリアル接続に成功したら、データ送信エリアに印刷指令を入力し、「送信」ボタンをクリックして印刷します(図 5)。

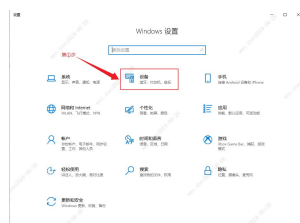


図 1



図 2



図 3



図 4

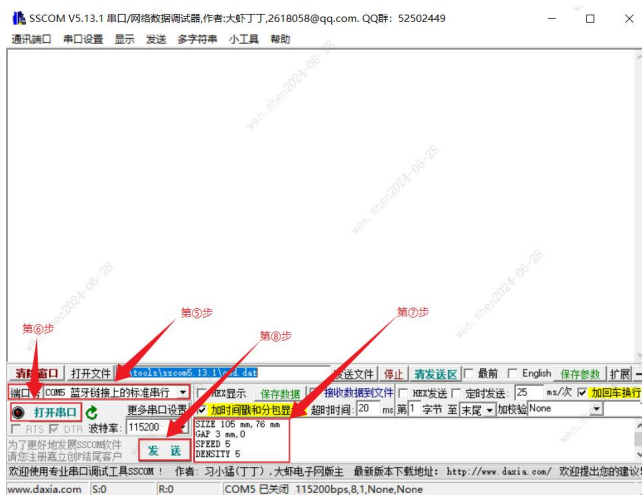


图 5

注：デスクトップコンピュータでは、Bluetooth アダプターを接続して同じ取扱で印刷する必要があります。

Bluetooth アダプターを使用しなくても、ノートパソコンには Bluetooth モジュールが付属しています。

## 8.WIFI 接続と印刷(WiFi プリンタでのみ有効)

WiFi プリンタが動作するには、マスターデバイスとの WiFi ネットワーク設定が必要です。設定プロセスはマスターデバイスが開始します。

(1)モバイル WiFi の構成方法は次のとおりです。

- a. プリンタの電源を入れます。
- b. マスターは外部 WiFi ネットワーク(ルーターのように)を検出し、WiFi ネットワークに接続します。
- c. 「FeasyWiFi」APP を使用して Bluetooth ネットワークを提供し、ネットワーク設定を完了します。
- d. ルーターのパスワードを入力し、WiFi ネットワークの設定が完了するまで待ってください。

注意：「FeasyWiFi」APP ソフトウェアを使用してネットワークを設定するには、「Bluetooth ネットワーク」画面で対応するプリンタ Bluetooth に接続する必要があります。Bluetooth ネットワークを使用する場合は、同時に複数のプリンタの電源を入れないことをお勧めします。複数の外付け Bluetooth デバイスがあ

る場合は、セルフテストページの印刷で Bluetooth の名称と MAC アドレスを確認できます。Bluetooth 名の下 4 桁の説明を書き留めます。

## (2)PC 側の WiFi 構成方法は次のとおりです。

- a. 電源コードを使用してプリンタの電源を入れ、USB ケーブルを使用してプリンタとコンピュータを接続します。
- b. パソコン側でラベルマシン設定ツール(printer\_setting\_boxed.exe)を開き、設定ツールから「Wi-Fi 設定」を選択します。
- c. 「STA モード」で、外部 WiFi の名称(ルーターのように)とパスワードを入力し、設置が成功したら(図 1)、
- d. 「wifi\_ip 設定」を選択し、「読取り」をクリックし、IP 情報を取得すれば(図 2、図 3)良いです。

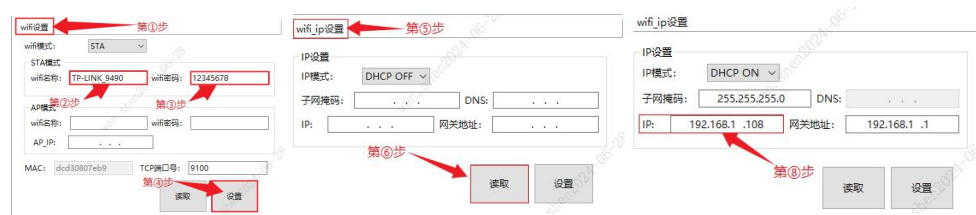


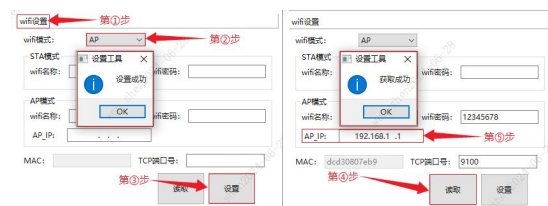
図 1

図 2

図 3

## (3)「AP モード」は、ネットワークを介さずにプリンタのホットスポットに直接接続できる。取扱方法は次の通り：

- a. パソコン側でラベルマシン設定ツールを開き、設定ツールの「WiFi 設定」を選択します。
- b. WiFi モードを「AP」に切り替え、「設定」をクリックします。
- c. 設置が完了したら、「読取り」をクリックして、AP\_IP アドレスを取得します(図 4、図 5)。





注意：ラベル設定ツールで設定するときは、セルフテストページの印刷で IP アドレス情報を照会できる「STA モード」と「AP モード」を区別してください。

## 9. WiFi 接続を使用して印刷する(ドライバーが WiFi 印刷に対応しない)

### PC 側 WiFi 接続印刷：

デスクトップパソコンは、ワイヤレスカードを差し込むことで、「STA モード」の WiFi ネットワークホットスポット（ルーターなど）または「AP モード」のプリンタホットスポットに接続し、ホストコンピュータソフトウェア（ネットワークデバッグアシスタントなど）を使用して、対応する IP アドレスを入力し、接続できます。接続に成功したら、ワイヤレスネットワークを通じて WiFi 付きプリンタに印刷指令を送信し、印刷できます。

注：ノートパソコンには WiFi モジュールが搭載されているため、ワイヤレスカードを挿入する必要はありません。

「STA モード」で上位機のソフトウェアを使用して WiFi 接続する印刷動作は次のとおりです(ネットワークデバッグアシスタントの例)。

- a. プリンタの電源が入った状態で、PC 側にワイヤレスカードを挿入し、プリンタに設定されている WiFi ホットスポットに接続します。
- b. (1) プロトコルタイプの選択「TCP Client」。 (2) リモートホストアドレス設定で取得した IP アドレスを入力します。 (3) リモートホストポート番号入力 TCP ポート番号：9100
- c. 「接続」ボタンをクリックし、ネットワーク接続に成功したら、
- d. データ送信エリアに印刷指令を入力し、「送信」ボタンをクリックすると、印刷できます（図 1）。



図 1

注「AP モード」の取扱方法は「STA モード」の取扱方法と同じです。WiFi\_IP アドレスはセルフチェックページで確認できます。

## 六、プリンタのスイッチ、ボタン及び表示灯

### 1.電源スイッチ

電源スイッチプリンタの電源をオンまたはオフにします。プリンタの電源スイッチはプリンタの背面にあります。スイッチの「-」を押すと、プリンタの電源が入ります。スイッチの「○」を押すと電源が切れます。

注意：スイッチをオンにすると、電源が接続されている場合にのみ有効です。

### 2.ボタンと表示灯

#### ボタン機能説明

ボタン	プリンタの状態	機能	説明
給紙ボタン	準備モード	給紙	プリンタの準備が整ったら(LED 緑表示灯点灯)、このボタンをクリックすると、ボリュームラベル用紙が次のラベル用紙の前面に移動します。
給紙ボタン	印刷モード	一時停止	連続して複数枚印刷しているときに(PAUSE)ボタンをクリックすると、印刷が一時停止します。
給紙ボタン	一時停止モード	一時停止の解除	プリンタが印刷を一時停止しているときに(PAUSE)ボタンをクリックすると、プリンタの一時停止が解除され、通常の印刷ジョブが再開されます。
給紙ボタン	エラー発生	エラー解除	エラー(赤)表示灯が点灯しているときに(PAUSE)ボタンをクリックすると、エラー復帰印刷機能がキ

			キャンセルされ、エラー時のラベルのレイアウトが再印刷されます。
--	--	--	---------------------------------

## 表示灯の説明

機能	説明	表示灯状態	響き
ブートアップセルフテスト	<p>A.プリンタの電源を切ります</p> <p>B.プリンタに用紙が設置されていることを確認し、プリンタの上蓋を閉めます</p> <p>C.給紙(FEED)ボタンを押しながらプリンタの電源を入れ、ビープ音が1回鳴ったらボタンを放して、セルフテストページを印刷します</p>		
プリンタの初期化	<p>A.プリンタの電源を切ります</p> <p>B.給紙(FEED)ボタンを押しながらプリンタの電源を入れ、ビープ音8が聞こえたらボタンを放します。プリンタのパラメータが工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。</p>		

備考：表示灯には複数のバージョンがあります。実物を基準にしてください。

## 七、プリンタテスト

### 1.セルフテストページの印刷

プリンタを最初にインストールしたときやプリンタに問題があるときセルフテストを実行して、ファームウェアのバージョンプリンタの各種設定の状態や印刷品質、外部機器に関する設定情報などを確認し、

セルフテスト後にプリンタに問題がないことを確認したら、他の機器やソフトウェアを確認してください。本機能は、他のデバイスやソフトウェアとは独立して動作します。

#### セルフテストの方法は次の通り：

- (1) 電源が接続され、ロールが正しく設置されていることを確認してください。
- (2) プリンタの電源がオフで、上蓋が閉じられていることを確認してください。
- (3) 紙送りボタンを押したまま電源ボタンを押して電源を入れ、プリンタの電源が入ったら(ビープ音 1 回鳴る)ボタンを放してください。

### 2.Windows ドライバを使用した印刷

- (1) ドライバのインストールが完了するまで Windows ドライバをインストールします。
- (2) Windows ドライバの「ポート」を使用する適切なインターフェースに設定します。
- (3) Windows ドライバの「テストページの印刷」機能を使用してテストページを印刷します。

注：具体的な手順は『Windows ドライバのインストールおよびテストページの印刷手順』を参照してください。

### 3.Mac ドライバを使用した印刷

- (1) ドライバのインストールが完了するまで、Mac ドライバをインストールします。
- (2) Mac ドライバプリンタが正常に追加され、「プリンタキュー」が開きます。
- (3) Mac ドライバの「テストページの印刷」機能を使用してテストページを印刷します。

注：具体的な手順は『Mac ドライバのインストールおよびテストページの印刷手順』を参照してください。

### 4.Ubuntu ドライバを使用した印刷

- (1) ドライバのインストールが完了するまで Ubuntu ドライバをインストールします。

(2) Ubuntu ドライバプリンタが正常に追加され、「プリンタのプロパティ」画面が表示されます。

(3) Ubuntu ドライバの「テストページの印刷」機能を使用してテストページを印刷します。

注：具体的な手順は『Ubuntu ドライバのインストールおよびテストページの印刷手順』を参照してください。

## 5.ラベル学習

次の場合は、ラベルの位置を学習して、プリンタがラベルをより適切に配置できるようにします。

- プリンタの初回インストールの場合。
- センサー清掃後に初めてプリンタを使用する場合。
- プリンタを長期間使用しなかった場合の再使用の場合。
- 新しいタイプのロールを交換した場合。
- 印刷中にプリンタがフラグを有効に認識しない場合。
- ラベルマシンを工場出荷時の設定に戻す場合。

## 6.紙切れ学習

- (1) プリンタにギャップラベル用紙を設置し、電源を入れます。
- (2) プリンタとコンピュータを USB で接続し、ラベル付け設定ツールを開きます。
- (3) プリンタと設置ツールが正しく接続されていることを確認してから、DAC 自己学習を実行します。
- (4) ラベル用紙を回収し、プリンタを紙切れ状態にして紙切れ学習を実行します。
- (5) 学習が完了したら、インデックス紙をガイドブロックに通して使用できます。

## 7.ギャップ学習

- (1) プリンタにギャップラベル用紙を設置し、電源を入れます。
- (2) プリンタとコンピュータを USB で接続し、ラベル付け設定ツールを開きます。

- (3) プリンタと設置ツールが正しく接続されていることを確認してから、DAC 自己学習を実行します。
- (4) 設定ツールの「ギャップ自己学習」ボタンを使用して、プリンタが正常に学習するまで待ちます。

## 8.黒ラベル学習

- (1) プリンタにギャップラベル用紙を設置し、電源を入れます。
- (2) プリンタとコンピュータを USB で接続し、ラベル付け設定ツールを開きます。
- (3) プリンタと設置ツールが正しく接続されていることを確認してから、DAC 自己学習を実行します。
- (4) キャップラベル用紙を取り除き、黒ラベル用紙を設置します。
- (5) 設定ツールの「黒ラベル自己学習」ボタンを使用して、プリンタが正常に学習するまで待ちます。

プリンタが連続紙モードで学習している場合、学習は無効です。

ユーザーはプリンタツールソフトで学習を完了(詳しくは『プリンタ設定ツール使用上の注意』を参照してください。)

注意：①学習が完了したら、上蓋を再び開けて、学習したばかりの白紙ラベル用紙を印刷に備えて再び置くことができ、紙の浪費を避けることができます。

②プリンタの用紙がある状態で誤って用紙切れ学習を行った場合は、プリンタの用紙がない状態で再度用紙切れ学習を行えばよいです。

③工場出荷時の設定に戻した後、プリンタが正常に使用できない場合は、以下の手順でプリンタを再学習し、正常に使用できるようにしてください。

- a. ラベルマシン設定ツールを開く、まずは「DAC 自己学習」(用紙がギャップ紙であることを実行します)。
- b. DAC 自己学習が完了したら、「ギャップ自己学習」を実行します。
- c. スリット自己学習完了後、学習ラベル用紙を回収し、プリンタを紙切れ状態にして「紙切れ学

習]を実行します。

- d. ギャップラベル用紙を取り出し、黒ラベル用紙を入れ、最後に「黒ラベル自己学習]を実行します。



## 八、プリンタの清掃

印刷品質を確保し、プリンタの寿命を延ばすために、この簡易プリンタ保守メンテナンスプログラムを実施することをお勧めします。

1.プリンタの清掃には、以下のツールを使用します。

- 綿棒
- 綿布
- 掃除機またはエアブラシ
- 工業用アルコール 100% 2.清掃とメンテナンスの手順：

清掃部	手順
<p>プリントヘッド</p>	<p>1. プリンタの電源を切ります</p> <p>2. プリントヘッドを少なくとも 1 分間冷却します</p> <p>3. 綿棒に 100%の工業用アルコールを染み込ませ、プリントヘッドの表面を拭きます</p> <div data-bbox="432 1462 1190 1877" style="text-align: center;"> </div>
<p>ゴムローラ</p>	<p>1. プリンタの電源を切ります</p>

	2. ゴムローラーを回しながら、綿布または綿棒に 100%工業用アルコールを染み込ませて丁寧に拭きます
紙カッターブレード	100%工業用アルコールを綿布に染み込ませて拭きます
センサー	エアブラシまたは掃除機を使用してセンサーのほこりを取り除きます
機械外部	湿らせた綿布で拭きます
機械内部	エアブラシや掃除機を使って、機械内のほこりを取り除きます

注意：

- プリントヘッドに直接手を触れないでください。不注意で手が触れた場合、綿棒で 100%工業用アルコールをつけて拭いてください
- 工業用アルコールをお使いください
- プリントヘッドに損傷を与える恐れがありますので、薬用アルコールは使用しないでください
- プリンタでエラーメッセージが頻繁に表示される場合は、プリンタのセンサーを頻繁に清掃してください。
- このプリンタでは、ドット行あたり最大 15%の印刷効率を実現しています。40ドット(203 DPIモデルは高さ 5mm、300 DPI モデルは高さ 3.3mm)を超える幅の黒い線を印刷するには、黒線の高さを制限してください。



## 九、トラブルシューティング

以下の表は、一般的な運用者によくある質問とその解決方法です。以下の手順に従ってトラブルシューティングを行っても問題が解決しない場合、またはプリンタが正常に動作しない場合は、購入したメーカーのカスタマーサービスにお問い合わせください。

問題	可能性のある要因	解決方法
電源表示灯が点灯しません。	<ul style="list-style-type: none"><li>● AC コンセントと電源アダプターのプラグがプリンタに正しく接続されていません。</li><li>● プリンタの電源スイッチがオンになっていません</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源コネクタを確認し、AC コンセントと電源アダプターのプラグがプリンタに正しく接続されているように確認してください。</li><li>● 電源スイッチを入れてください。</li></ul>
インクリボン使い切り	<ul style="list-style-type: none"><li>● インクリボン使い切り</li><li>● インクリボンの設置方法が正しくありません。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 新しいインクリボンを設置してください</li><li>● インクリボン設置の各手順を参照して再び設置してください</li></ul>
紙切り	<ul style="list-style-type: none"><li>● ラベル用紙切れ</li><li>● ボリュームラベルのインストールパスが正しくありません。</li><li>● ギャップ/黒ラベルセンサーが正しく検出されません</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 新しいラベル用紙を設置してください</li><li>● ラベル設置の各手順を参照して設置し直してください。</li><li>● ラベルセンサーを再調整してください</li></ul>

<p>紙詰まり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ギャップ/黒ラベルセンサーが正しく検出されません</li> <li>● ラベル用紙のサイズが正しく設定されていません</li> <li>● プリンタ内部にボリュームラベル用紙が詰まっている可能性があります</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベルセンサーを再調整してください</li> <li>● 正しいラベルサイズを設定します</li> <li>● プリンタ内部を清掃します</li> </ul>
<p>印刷できません</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トランスポートケーブルに適切なトランスポートポートスロットがあるかどうかを確認してください</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 伝送ケーブルを再接続してください</li> <li>● 新しい伝送ケーブルを交換してください</li> <li>● 使用しているインクリボンとラベルが一致していません</li> <li>● カーボンリボンインキ面が正しく設置されているかどうかを確認してください</li> <li>● インクリボンを設置し直してください</li> <li>● プリントヘッドを清掃してください</li> <li>● プリンタの印刷濃度が正しく設定されていません</li> <li>● プリントヘッドの接続不良です。プリンタの電源を切り、もう一度プリント</li> </ul>

		<p>ヘッドの接続を行ってください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステッピングモーターのケーブルが正しく接続されていることを確認してください</li> </ul>
<p>印字効果がよくない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インクリボンとラベル用紙が正しく設置されていません</li> <li>● プリントヘッドにほこりや粘着剤が付着しています</li> <li>● 印刷濃度が正しく設定されていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消耗品を設置し直してください</li> <li>● プリントヘッドを清掃してください</li> <li>● ゴムローラーを清掃してください</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プリントヘッドが破損しています</li> <li>● 使用しているインクリボンとラベルが一致していません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プリンタの印刷速度と印刷濃度を調整してください</li> <li>● セルフテスト値を印刷し、プリントヘッドが破損しているかどうかを確認します。プリントヘッドが破損している場合は、プリントヘッドを交換してください。</li> <li>● 適切なインクリボンまたは適切なラベル用紙と交換してください</li> <li>● ラベルの厚さが 0.22 mm を超えると</li> </ul>

		<p>印字品質が低下する可能性がある場合は、プリントヘッドの圧力を上げてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● プリントヘッドスタンドが完全に閉じていることを確認してください</li> </ul>
印刷時に紙飛びが発生する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベルのサイズが正しく設定されていないか、不完全です。</li> <li>● ラベルを交換してもセンサーが再調整されていません</li> <li>● ラベルセンサーがほこりに覆われているため、正しく検出されません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベルのサイズ設定が正しいことをご確認ください</li> <li>● ラベルセンサーを直してください</li> <li>● エアブラシを使用してセンサーからほこりを取り除いてください</li> </ul>
小さなボリュームラベルの印字位置が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベルセンサーが正しく設定されていません</li> <li>● ラベルのサイズが正しく設定されていません</li> <li>● プリンタドライバのボリュームラベルスタイルで垂直方向のオフセット (vertical offset) を正しく設定されていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベルセンサーを再調整してください</li> <li>● 適切なボリュームラベルサイズとボリュームラベルギャップサイズを設定してください</li> <li>● BarTender ソフトウェアをお使いの場合は、プリンタドライバーで垂直方向のオフセットを設定してください (vertical offset)</li> </ul>
左右に印刷した	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベルのサイズが正しく設定されてい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しいラベルサイズを設定します</li> </ul>

い内容がありま せん	ません	
しわ問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インクリボンが正しく設置されていません。</li> <li>● ラベル用紙が正しく設置されていません。</li> <li>● 印字濃度が正しくありません</li> <li>● ラベル用紙が正しく給紙されていません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベル印刷に適した濃度を設定してください</li> <li>● ラベル幅に合わせてボリュームラベル幅調整器を調整してください</li> </ul>
黒のラベル用紙 にグレーの線が 入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プリントヘッドに汚れがある.</li> <li>● ゴムローラーが汚れています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プリントヘッドを清掃してください</li> <li>● ゴムローラーを清掃してください</li> </ul>
ラベルに活字体 がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボリュームラベルのマウントパスが正しくありません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベルの設置の章の手順を参照して、ラベルを設置し直してください。</li> </ul>